

委員会レポート

健康で笑顔あふれる まちを目指して

文教厚生委員会

(10月31日～11月1日)



自然体験活動の取り組みを聞く
(国立妙高青少年自然の家)

①検診結果配布の徹底 (新潟県上越市)

検診結果配布の手渡しを徹底し、渡す際に個人個人に合ったアドバイスを行うことが可能になった。その結果、医療費の伸び率や、要介護認定者数の減少傾向につながった。

②豊かな自然とスタッフの熱意

(新潟県妙高市 国立妙高青少年自然の家)

四季を通じて様々な自然体験活動を行っていた。所長を始めとするスタッフの熱意も感じられ、その熱意が活動する子どもたちにも伝わっているようだった。

③エコマイレージ (新潟県妙高市)

健康増進の一環としてエコマイレージに取り組んでいた。また、住民間で健康教室を開催したり、地域で健康づくりリーダーを作ったり、健康に興味を持ってもらうことに取り組んでいた。

子どもたちの食と安全 文教厚生委員会 (11月24日)

学校給食の調理を指定管理者に委託し、4月から運用が開始されたことから、本委員会で視察を行った。

アレルギーへの対策や食事のバランス、メニューや味に至るまで、今まで培ってきたノウハウを引き継いでいることが確認された。まだ委託が開始されて半年しか経過していないので、今後も定期的に視察や意見聴取を行い、注意して観察していく。



子どもたちの給食 (東海村立白方小学校)

「道づくり」の先進的な取り組み 建設農政委員会 (11月16日～18日)

①播磨中央自転車道の整備

(兵庫県神戸市加東土木事務所)

国の先進的モデルとして進めているが、利用促進という観点で定期的なイベントも必要だと感じた。

②「農」の担い手総合支援事業 (広島県尾道市)

若い新規就労者を中心に、経営者として自立できるまで育成しようとする取り組みを行っていた。

③道路整備における市民要望の適正管理

(山口県宇部市)

透明性のある管理の観点からも、道路整備の優先順位評価基準を定める取り組みは参考にすべきだと感じた。



道路整備の施工箇所を視察 (宇部市)